



4月26日 米づくりを行う水田型市民農園がオープン



5月31日 “街の大掃除”でゴミのない街に



7月21日 水田に玄米黒酢を散布して「特別栽培米」づくり

7月1～31日 百数十万本のひまわりが咲きほこる

関宿台町で「ひまわりまつり」が開催。約9ヘクタールの田んぼに、百数十万本のひまわりが咲きほこりました。訪れた人はカメラに収めたり、花を摘んだりして楽しんでいました。

21日 農業に替わり玄米黒酢を散布して「特別栽培米」づくり

安全安心な農産物づくりを進める中、船形・目吹・木野崎地区の約220ヘクタールの水田に殺菌効果のある玄米黒酢を散布。農薬と化学肥料の使用量を減らした「特別栽培米」づくりを進めます。

8月1日 20周年目の「野田みこしパレード」

市内各地のみこし12基が集まり、本町通りを中心とした会場を練り歩く、「野田みこしパレード」が行われ、約5万6千人の観客が訪れました。今回は20周年を記念し、「関宿城下みこし」が初登場。

22・23日 新潟国体出場をかけた関東ブロック大会

国体への出場をかけたバドミントンの関東ブロック大会が総合公園体育館などで開催。22年10月に野田市で開催する「ゆめ半島千葉国体バドミントン競技会」のリハーサル大会も兼ねています。

23日 約200人が水田型市民農園で稲刈り

里山の景観が残る江川地区に、(株)野田自然共生ファームが今春開設した「水田型市民農園」で、一般公募の参加者による初の稲刈りが行われ、約200人で賑わいました。

9月1日 約1,000人が参加して総合防災訓練

9月1日の「防災の日」に、地域の皆さんや関係機関などとも連携し、文化センター駐車場で総合防災訓練を実施しました。

29日 全国初「公契約条例」が市議会で可決

平成21年第4回定例市議会で、労働者の適正賃金を確保するための市独自の「公契約条例」が可決されました。

10月1日 南部に続き「北部まめばん」を開設

南部地区に続き、第2の「まめばん」として、「野田市北部安全安心ステーション」、通称「北部まめばん」をロックタウン(七光台)内に開設しました。

7日 ハツ場ダムの治水効果の再検証を要望

1都3県の13市区町で構成し、根本市長が会長を務める「江戸川改修促進期成同盟会」が国土交通省を訪れ、前原誠司大臣あてのハツ場ダムの治水効果の再検証を求める意見書を提出しました。

11月1日 関宿地域の浸水被害の解消を目指して

19年度の東宝珠花地先に排水ポンプ場を設置や親野井から船形へ通じる「六丁四反水路」の水路改修工事で、道路や宅地への浸水被害の解消に努めています。21年度は355メートルを工事して、全体の約15パーセントが完了する予定です。

1～3・7・8・15日 日ごろの文化・芸術活動の成果を披露

市民の皆さんが日ごろより取り組まれている文化・芸能活動の成果を発表する「野田市文化祭」が開催。作品展示の部、舞台発表の部、各種行事に多くの人たちが鑑賞に訪れていました。

12日 市長が国際フォーラムで市の取組みを講演

江川地区でのビオトープ化への取組みや減農薬による農業の推進、さらに南関東にコウノトリが舞うような環境づくりを進めていきたいと、自治体関係者や自然保護団体など約450人を前に、根本崇市長がスライドを交えて講演しました。

12月1日 梅郷駅東口市営駐輪場が開設

梅郷駅東口市営自転車等駐車場(駐輪場)を開設。開設に伴い、既存の市営駐輪場の料金の見直しを行い、既存の市営駐輪場の料金も見直し、引き下げました。

17～23日 年末一斉パトロールで防犯を呼びかけ

野田市防犯組合では、16の支部と市、野田警察署が連携して「防犯組合年末一斉パトロール」を行いました。パトロールでは、市内全域で市民の皆さんに防犯を呼びかけました。



10月7日 ハツ場ダムの再検証を求める意見書を提出



11月1日 関宿地域の浸水被害の解消を目指して



12月1日 梅郷駅東口市営駐輪場が開設